

## 経営協議会議事要録（第70回）

日時：令和2年 3月17日（火） 15時00分から16時41分

場所：岩手大学事務局第一会議室

出席者：磯田文雄 委員（名古屋大学アジアサテライトキャンパス学院長）  
小野昭男 委員（小野食品(株)代表取締役）  
加藤裕一 委員（共益商事(株)代表取締役社長）  
鎌田英樹 委員（(株)IBC岩手放送代表取締役社長）  
澤藤隆一 委員（一祐会電気電子情報科会東京支部相談役）  
新宮由紀子 委員（(株)長島製作所代表取締役社長）  
千葉茂樹 委員（前岩手県副知事）  
岩淵明 委員（学長）  
小川智 委員（理事（総務・企画・評価担当）・副学長）  
喜多一美 委員（理事（教育・学生・IR担当）・副学長）  
藤代博之 委員（理事（研究・復興・地域創生担当）・副学長）  
佐々木強 委員（理事（財務・労務担当）・事務局長）

欠席者：國井秀子 委員（芝浦工業大学客員教授）

陪席者：比屋根哲（副学長（総合科学研究科・COC担当担当））、藪敏裕（副学長（国際連携担当））、宮本ともみ（副学長（男女共同参画・広報・環境マネジメント担当））、西崎滋（副学長（情報統括担当））、阿部健（監事）、下田栄行（監事）、松岡和生（人文社会科学部評議員）、遠藤孝夫（教育学部長）、船崎健一（理工学部長）、倉島栄一（農学部長）、佐藤繁（獣医学研究科長）、上村松生（連合農学研究科長）、晴山均（総務部長）、野田潔（学術研究推進部長）、早川浩之（地域連携推進部長）、阿部幸治（財務部長心得）、湯澤麻起子（学務部長）

議事に先立ち、第68回及び第69回議事要録について原案のとおり確定することとした。また、学長から、新型コロナウイルス感染症の影響による卒業式・入学式の対応等について説明があった。次いで、総務広報課長から配付資料の確認が行われた。

### 議 題

#### 1．国立大学法人岩手大学職員就業規則等の一部改正について

学長から、国立大学法人岩手大学職員就業規則等の一部改正について諮る旨が述べられ、次いで、佐々木理事・事務局長から、資料に基づき改正案等について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、学長から、本件については3月26日開催の役員会で決定し、令和2年4月から施行する旨の付言があった。

#### 2．令和2年度国立大学法人岩手大学年度計画について

学長から、令和2年度国立大学法人岩手大学年度計画について諮る旨が述べられ、次いで、小川理事・副学長から、資料に基づき、第3期中期目標期間の最終成果の達成と確実な成果を見据え、

より具体的な事業計画として年度計画案を策定したことの説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、学長から、本件については3月26日開催の教育研究評議会での審議を経て、同日開催の役員会で決定し、3月31日までに文部科学省へ提出する旨の付言があった。

### 3．令和2年度国立大学法人岩手大学予算案等について

学長から、令和2年度国立大学法人岩手大学予算案等について諮る旨が述べられ、次いで、佐々木理事・事務局長から、資料に基づき、令和2年度予算編成方針について説明があった。また、令和2年度予算案について、一般会計の収入予算9,848,645千円に対する支出予算9,848,645千円の内訳として人件費、学長裁量経費、基礎的経費、予備費、事業費予算額について説明があり、さらに、特別会計の収入及び支出として1,950,074千円を計上したこと、一般会計・特別会計の合計額として令和2年度予算総額は11,798,719千円であることの説明があった。審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、学長から、本件については3月26日開催の役員会で決定する旨の付言があった。

### 4．その他

なし

## 報 告

### 1．国立大学法人岩手大学役員等体制について

学長から、資料に基づき、国立大学法人岩手大学役員等体制について報告があった。

### 2．大学機関別認証評価評価結果について

小川理事・副学長から、資料に基づき、令和2年1月に大学改革支援・学位授与機構から通知された令和元年度実施大学機関別認証評価評価結果（案）について、本学は全て基準を満たしていると評価されたことの報告があった。

### 3．学務関係等報告について

喜多理事・副学長から、資料に基づき、学生の課外活動、学生表彰及び2020年度入試の実施状況（学部・大学院）について報告があった。

### 4．その他

なし

## 意見交換テーマ：「岩手大学への期待」

学長から、意見交換テーマの設定趣旨について説明があり、忌憚のないご意見を賜りたい旨が述べられた。

学長から、5年2週間の任期を終え今月末で退任すること、本日のご意見は小川新学長の下で大学運営の参考にさせていただき、これまでのご支援に対する謝意が述べられた。